

メディアコンテンツの先進地、秋葉原で開催 東京工芸大学芸術学部卒業・大学院修了制作展2015

2015年2月20日(金)、21日(土)、22日(日)

東京工芸大学(学長:若尾真一郎、所在地:東京都中野区/神奈川県厚木市)では、2015年2月20日から22日の3日間、「東京工芸大学芸術学部卒業・大学院修了制作展2015」(卒業制作展)を、秋葉原 UDX で開催します。

卒業制作展では、メディアアーティストの育成という教育理念のもと、芸術学部・大学院芸術学研究科を2015年3月に卒業・修了する約570名の学生が、在学中に身に付けた知識・技術を最大限に発揮して創り上げた作品を一挙に公開いたします。多くの方に作品を見ていただくとともに、アーティストとしてのデビューを支援する機会でもあります。

秋葉原は戦後のラジオ商から家電やコンピュータ関連の店舗の集積地として名高く、現在ではアニメーションやゲーム、マンガなど様々なメディアコンテンツの先進地であります。メディアコンテンツの教育研究に取り組んでいる本学芸術学部の卒業制作展を開催するにふさわしい場所といえます。

ぜひ、この機会に学生生活の集大成である卒業作品に触れてメディアアートを感じてください。

また、将来、芸術分野での活躍を考えている高校生を対象に、同会場にて実際に作品に触れてもらい、本学の学びについて理解していただく「芸術学部学びの相談会」を開催します(21日・22日のみ)。



昨年開催時の様子

開催概要

会場	秋葉原 UDX 東京都千代田区外神田4-14-1
日時	2015年2月20日(金) 14:00~20:00 2015年2月21日(土) 10:00~20:00 2015年2月22日(日) 10:00~16:00
出展	写真学科・映像学科・デザイン学科(ビジュアルコミュニケーションコース、デジタルコミュニケーションコース、ヒューマンプロダクトコース)・インタラクティブメディア学科・アニメーション学科・ゲーム学科・マンガ学科、大学院芸術学研究科メディアアート専攻
入場料	無料
URL	http://www.t-kougei.ac.jp/arts/graduation-works/

【本リリースに関するお問い合わせ先】

東京工芸大学 学事部広報課
担当 : 斎藤・松本

電話:046-242-9600 / FAX:046-242-9638
e-mail :pr@office.t-kougei.ac.jp

東京工芸大学概要

東京工芸大学は、大正12年(1923年)、当時の先端メディアの一つである写真を教授する3年制の旧制専門学校として設立された小西寫眞専門学校を前身としています。小西寫眞専門学校は、小西本店(現在のコニカミノルタ株式会社)創始者である六代 杉浦六右衛門が提唱していた、「日本の写真技術の振興に寄与する人材を世に送り出し、国家の発展に貢献するためには写真教育を行う専門の学校が必要である」という理想と遺志を後継した七代 杉浦六右衛門により、東京府豊多摩郡代々幡町幡ヶ谷(現東京都渋谷区本町)の地に設立されました。その後校名変更や戦後の短期大学への移行などの変遷を経て、現在は工学部と芸術学部の2学部及び大学院からなる4年制大学へと発展しています。

芸術学部は、平成6年(1994年)に短期大学部を母体に写真学科、映像学科及びデザイン学科の3学科で設立されました。その後平成13年(2001年)にメディアアート表現学科(現・インタラクティブメディア学科)、平成15年(2003年)にわが国初のアニメーション学科を創設し、さらに平成19年(2007年)にはマンガ学科を、平成22年(2010年)にはゲーム学科をそれぞれ増設するなど、社会の変化や技術の発展に応じて求められるメディア芸術やコンテンツ分野の人材育成に先導的な役割を果たしています。

理事長・学長

学校法人東京工芸大学 理事長 岩居 文雄(いわい ふみお)
東京工芸大学 学長 若尾真一郎(わかお しんいちろう)

所在地

法人本部	東京都中野区本町二丁目9番5号
中野キャンパス	東京都中野区本町二丁目9番5号
厚木キャンパス	神奈川県厚木市飯山1583番地
ウェブサイト	http://www.t-kougei.ac.jp/

設置学部・大学院等

【工学部】

メディア画像学科、生命環境化学科、建築学科、コンピュータ応用学科、電子機械学科

【芸術学部】

写真学科、映像学科、デザイン学科、インタラクティブメディア学科、アニメーション学科、ゲーム学科、マンガ学科

【大学院工学研究科・芸術学研究科】

博士前期課程／博士後期課程

学生数

4410名(2014年5月1日現在)
